

3/5  
2021年第1388号  
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
電話(06)6568-7731(代表)  
http://osk-net.org/  
定価・年間10,000円 月1,000円  
1977年5月23日第三種郵便物認可

## 「そのとき、医療者は～感染症と災害にどう向き合うか～」

7月11日(日) 午前10時～午後4時

会場 ドーンセンター  
(大阪市中央区)

### 日常診療経験交流会

歯科、医科両協会は第8回日常診療経験交流会を7月11日、ドーンセンターで開催することを決めた。同交流会副実行委員長の平尾清司理事(写真)が演題発表と当日の参加を呼びかけている。



日常診療経験交流会は、「そのとき、医療者は～感染症と災害にどう向き合うか～」をテーマに開催します。午前は日常診療を交流する分科会を、午後は記念講演を予定しています。

今年には医科協会と共催で開きますが、演題のテーマは医科歯科連携に限らず歯科診療や医療経営に関する工夫など何でもかまいません。交流会を通じて、会員同士が自由に意見を交換する機会となることを願います。多くの会員の演題をお待ちしています。

記念講演は、「感染

たきます。また「災害」では、防災分野のノ

SAKAWA防災賞を日本で唯一受賞した河田恵昭関西大学社会安全学部特別任命教授に、医療機関は災害に対してどう備えるべきか、事前の備え、災害時の対応について、大阪の地域性も踏まえて講演いただきます。

症」と「災害」をテーマに2人の講師にお話いただきます。「感染症」では、人類学・霊長類学の権威である山極壽一京都大学名誉教授に、新型コロナウイルスをはじめ感染症による社会的危機に對して、これから人類はどのように向き合っていくべきかについてお話し

貴重なお話を聞ける実りある時間になると思います。多くの会員、スタッフの参加をお待ちしています。

#### 分科会の演題応募テーマ

- ① 日常診療における工夫や悩み、トラブル
  - ② 明日からの診療に取り入れられるアイデアと経験交流
  - ③ 在宅医療
  - ④ 他職種連携など医科歯科連携の取り組み
- ※発表時間は20分(質疑応答含む)  
詳細は事務局(06-6568-7733)まで

### マイナンバーと『超』監視社会

「マイナンバー」のモデルはエストニアだと言われる。かつては旧ソ連を構成していた北欧バルト三国のひとつで、近年は世界屈指のIT先進国に成長した国だ。

この間には政府高官や財界人らが、幾度となく

観察に訪れた。マイナンバーの活用を急ぐ平井卓也デジタル改革担当相も、事あるごとにエストニアの事例を示しては、かくあれかしと唱導している。



## 「透明性、語らない日本」

ジャーナリスト・齋藤貴男

国家のイメージで語られがちだ。そのような国の番号制度を目標にしているのなら、「マイナンバー」も悪くない仕組みであるはず、と思わせる印象操作と言ったべきか。

ところが、ここにも「マイナンバー」の欺瞞がある。かの国政府のCIO(最高情報責任者)が6年前、日本の記者に語った言葉を紹介したい。ターヴィ・コトカ氏という。

「日本には、番号制に対してプライバシーを心配される方もいます。コトカ氏はこうも述べ

が、紙の世界の方が、プライバシーが低い場合もあります。実際、われわれは旧国家保安委員会(KGB)の監視下で、プライバシーのない生活を続けていましたからね」

KGBは旧ソ連の秘密警察だ。前身のチェーカー、GPU(国家政治保安部)の時代から、反体制的な人物を矯正、あるいは粛清する役割を担ってきた。現在のロシア大統領ウラジミール・プーチン氏もKGBの出身である。

コトカ氏はこうも述べていた。

「電子化された世界では、プライバシーの価値が異なります。エストニアでは、例えば私についてネット検索をすると、住所や給料も調べられます。ですが、これは「秘密」ではなく、透明性があるということに過ぎません」(『ダイヤモンド・オンライン』2015年3月13日配信記事より)

この発言が事実であれば、なるほど透明性ではある。国民は政府に監視されるが、逆に政府を監視することもできるという

う。恐ろしい秘密警察に監視され、ただただ支配されるだけの社会に比べたら、はるかにマシではあるだろう。

しかし、私たちはどうか。KGBとCIA(米中央情報局)のどこが違うのかという本論は置いておいても、日本では「マイナンバー」を推進する人々は、どうして国民の利便性と行政の効率化を語るばかりで、自分たちの情報をオープンにすることは触れようともしないのか。

## マイナンバーカードの保険証利用始まる

オンライン資格確認を導入しても、患者がマイナンバーカードに保険証利用の登録をしなければ保険証として使えません。保険証の提示をめぐっての混乱や、院内でカードを紛失するといった、トラブルも漏洩した場合には責任が問

■窓口で混乱  
オンライン資格確認を導入しても、患者がマイナンバーカードに保険証利用の登録をしなければ保険証として使えません。保険証の提示をめぐっての混乱や、院内でカードを紛失するといった、トラブルも漏洩した場合には責任が問

■維持コスト必要  
カードリーダーの無償提供などオンライン資格確認導入のための助成が受けられませんが、回線の維持費などのランニングコストは別途必要になります。セキュリティ対策も求められ、

## オンライン資格確認を導入しない5つの理由

1. 後戻りできない  
いったん補助金を受けると、マイナンバーカードによる受診を求められた場合、拒否することはできません。カードで資格確認できる環境を整備しておかなければ、補助金の返還が求められます。
2. 補助金は23年末まで  
2023年末までに必要な設備を導入すれば補助
3. 利便性が低い  
オンライン資格確認は義務ではありません。政府はオンラインでの「資格確認」の利便性を強調しますが、現在も資格喪失での受診はごくわずかしかなく、医療機関に不利益が生じないケースがほとんどです。
4. 後戻りできない  
いったん補助金を受けると、マイナンバーカードによる受診を求められた場合、拒否することはできません。カードで資格確認できる環境を整備しておかなければ、補助金の返還が求められます。
5. 利便性が低い  
オンライン資格確認は義務ではありません。政府はオンラインでの「資格確認」の利便性を強調しますが、現在も資格喪失での受診はごくわずかしかなく、医療機関に不利益が生じないケースがほとんどです。

お知らせ 会費の減免制度

75歳以上は減額・免除  
休保・年金の掛け金  
払い込み中は適用外

15年以上継続して協会の開業  
会員で、満75歳以上の開業  
医会員の方は、会費を減額  
(5500円→3000円)または  
免除される制度があります。

ただし、協会の共済制度利用  
中は対象外となります。会  
費免除となった先生方には  
【大阪歯科保険医新聞】のみ  
を届け、協会発行書籍は配  
布していません。本制度の  
申請は、協会組織部まで。

協会直通番号のご案内

保険請求のご相談や年金・休業保障制度のお問い合わせは直通番号をご利用ください。

社保研究部 06-6568-7467  
共済部 06-6568-7438

歯界

政治家による「身内のための政治」が目に見える。政治家は、国民から疑惑や不信を招かないよう、高い倫理観が求められる職業だ。過酷な競争に打ち勝つ、断念せざるを得なかった人も多いはずだ。選ばれた人々には、責任と誇りがあると